

29号

# 熱田高同窓会報

発行  
愛知県立熱田高等学校  
同窓会事務局  
TEL(052)-652-5858

同窓会ホームページ  
URL:<http://www.atsuta.gr.jp/>

熱田高校ホームページ  
URL:<http://www.atsuta-h.aichi-c.ed.jp/>

## 目次

巻頭文----- 1  
ご挨拶  
新会長 柿崎賢一(17回生)

熱田高校の今  
第20代校長 桑山幸久

熱田高校の今----- 2

進路部だより

生徒会だより ----- 3  
ジェンダーレスにともなう  
制服への取り組み  
元生徒会長 3年 田中香穂

時代を映す制服問題  
谷澤 伸 (11回生)

がんばれ熱校生----- 4  
不思議な縁

28回生 竹下佳宏  
今までもこれからも  
61回生 杉木香穂  
還暦を過ぎて  
26回生 伊藤 淳  
韓国留学から得た  
出会いの大切さ  
65回生 加藤桃英

入学式と卒業式を撮る ----- 7  
同窓会入会式の報告  
25回生 奥田隆庸

事務局だより----- 8  
令和6年度 教職員の異動  
令和5年度 会計報告  
同期会開催案内 (19回生)  
挿し絵  
「フジの花」(パステル画) 8号  
11回生 田中和枝(旧姓 竹内)



同窓会QRコード



### 挨拶

新会長 柿崎賢一(17回生)



3月29日の前役員  
会で選出された新会長  
の柿崎賢一です。先月  
古希を迎えました。

佐々木元彦前会長  
(1回生)、はじめ諸先輩らが築き  
あげてきた同窓会を、多くの諸先輩  
をさしおいて自分が会長職を受ける  
のは気が重いですが、微力ながら引  
き継ぎさせて頂きます。

私の役目は、次世代の若い方に  
同窓会運営を引き渡すための新ルー  
ルづくりとその試行です。

今後少ない予算で無理なく維持継  
続できるように、世間でよく言われ  
ているSDGsを意識し、同窓会の  
DX化を試みたいと思います。

まずは会則を現状に合わせ、ま  
たDXに耐えられるように大きく見  
直します。ホームページのインデッ  
ク

クスからご覧頂くことができます。

また執行役員は会計・監査以外  
に私を入れ5人にしぼり、各々担  
当を決めました。ホームページのイ  
ンデックスからご覧頂くことができ  
ます。

連絡・会合・記録・決済もデジ  
タル化を試行します。同窓会への入  
金・支払関連もオンライン決済化し  
ます。会員との名簿の更新・決算公  
開・会報の閲覧などもホームページ  
からのみとします。

また、今までの総会を実施する  
かは決めていませんが、今のところ  
総会実施の担当執行役員は不在です  
が、やって見たい方は私までご連絡  
をください。

諸先輩から見ればそんな滅茶苦茶  
な、と思われるかもしれませんが、  
次世代への移行期と見え守って頂  
ければ幸いです。

令和6年4月吉日

熱田高校の今

第20代校長 桑山 幸久



今年度は、全日制320名・定時制36名の新生を迎えました。近年、公立高校では多くの学校が定員割れとなつていますが、これまで伝統を築いてくださった皆様のおかげで、熱田高校は高い人気を集めています。

そして、今学校は新生のエネルギーで活気に溢れています。生徒の多様な活動を保障するために、新生の部活動登録を任意としましたが、8割以上の生徒が部活動に登録して意欲的に参加しています。

生徒会活動への高い意欲も見られます。先日行われた前期生徒会役員選挙には、役員定数6に対して8名の立候補があり、そのうち5名が新生でした。立会演説会でも誰もが落ち着いており、演説には熱田高校での高校生活にかける想いが溢れていました。「学校説明会の際の生徒会の先輩に憧れて」と立候補の理由を話した人が何人かいました。昨年の会報でもお知らせしましたが、主にジェンダーレスの考え方により、全日制では「第3の制服」と

して新たなブレザータイプの制服を来年度から導入する予定です。生徒の投票により基本スタイルまで決まり、今後はネクタイやボタンなどの選択をして、8月に行われる中学生向けの学校説明会で披露できるように準備を進めています。

同窓会の皆様からグラウンドの人工芝を寄贈していただいていたから、2年が経ちました。教育活動への効果は絶大であり、熱田高校の魅力の1つにもなっています。しかしながら毎日の使用により傷みの目立つ箇所も発生しており、人工芝を維持していくことの難しさも感じています。

未来の熱高生にも良い環境を提供できるように、準備を進めていきたいと考えています。

今後も本校の教育活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。



桜咲く正門に集う新生と保護者

熱田高校の今

進路部だより

卒業生の進路状況

合格者数

	4年生大学		短期	専門	浪人	卒業者数
	国公立	私立	大学	学校		
令和5年度	36	838	9	19	?	314

過年度の進路先

	4年生大学		短期	専門	浪人	合計
	国公立	私立	大学	学校		
令和4年度	38	243	3	13	15	314
令和3年度	31	239	2	25	11	310
令和2年度	18	230	8	33	12	314
令和元年度	19	231	11	30	20	316

令和5年度(2023)の

主要大学と合格者数

① 国立大学

- 名古屋大(3名)・愛知教育大(5名)・名古屋工業大(3名)・名古屋市立大(2名)・愛知県立大(1名)・三重大(4名)・岐阜大(2名)・静岡大(1名)・金沢大(1名)

② 私立大学

- 藤田医科大学(3名)・愛知大(115名)・南山大(103名)・中京大(103名)・名城大(81名)・愛知学院大(68名)・中部大(58名)・愛知淑徳大(49名)・中央大(4名)・青山学院大(2名)・早稲田大(1名)・明治大(1名)・法政大(1名)・立命館大(17名)・関西学院大(14名)・関西大(9名)・同志社大(6名)

熱田高校は伝統的に地元志向の大変強い学校です。また関東の主要大学より、関西の主要大学に生徒の目が向いています。

(文責) 同窓会学校幹事  
49 回生 磯部 敦至



大学入試共通テスト受験風景(朝日新聞)

生徒会だより

ジェンダーレスにとまなう

制服への取り組み

3 年生 田中 香穂 (70 回生)



熱田高校では、ジェンダーレス化を目的とした第 3 の制服であるブレザーの制

服を考案しています。令和 5 年 1 月に 1 年生と 2 年生にグループフォー

ムを用いて投票を行い、大まかなデザイン案を決定しました。

令和 6 年度話し合いを重ねながら、令和 7 年度の新入生から着用ができるよう努めています。

制服の検討会は、当時の生徒会長・副会長も参加することになっていましたので、わたくしも 1 年間、制服の検討に携わせていただくことになりました。

服や学ランも親しみやすくお気に入りなので、新たに追加される制服も今後の後輩達に愛されて、熱田高校の顔になれるような制服であって欲しいと思います。

候補にあがっている新しい制服の写真をのせておきます。

第 3 の制服 見本



時代を映す制服問題

11 回生 谷澤 伸



思いおこせば私の大学 3 年時の 1968 年は、ベトナム反戦運動の拡大・学生

化運動など世界が最も揺れた時であった。

日本でも大学紛争・高校紛争がおこっている。高校では校則の見直しや制服が問題視された。男子の制服の詰襟や女子のセーラー服は軍服をモデルとしているとして、その忌避感から廃止運動へと運動した。

しかし大学紛争・高校紛争が沈静化されると、1970〜80年代にかけて学校教育は「学生運動の封じ込め」と「校内暴力・学級崩壊の防止」を理由に管理教育が強化された。特に厳格な管理教育を行ったのが愛知県と千葉県といわれる。

各学校では校則を盾に制服のチェック・頭髮の検査が一般的におこなわれた。私にとっては教員生活の新任の時でした。そして制服問題はいつしか忘れさられた。

歴史のうえで人類は貧困・戦争・気候変動・感染症などさまざまな問題と向き合ってきた。IT 革命によりグローバル化が急激に進んだ現代

これまでにない課題に直面している。そのような危機から課題を整理し具体的な目標をたてたのが、SDGs (エスディージーズ) 持続可能な開発目標) である。

SDGs は、17 の目標を掲げ国連総会で 2015 年採択された。2030 年までに目標を達成すること

を目指す。

SDGs の達成目標の 1 つに「ジェンダー平等を実現する」がある。

ジェンダーは「男だから」「女だから」など、社会や文化の中でつくられた性差をいう。性差にとらわれずすべての人が能力を最大限に発揮できる真の男女平等社会の実現をはかるうとする。

しかし世界経済フォーラムが発表した 2023 年の日本のジェンダーギャップ (男女格差) は世界で 125 位と目を疑う順位となっている。

時代に呼応して高校でジェンダーレスにとまなう制服の見直しはじまった。「男子は詰襟・ズボン」「女子はセーラー服・スカート」からの解放で、性差を感じさせないと思われるデザインが動きだしている。

高校でジェンダーレスの取り組みが、制服という身近なことから始まったことに意義がある。

全国を見ると 3 割の公立高校で制服の見直しが報告されている。熱田高校もその中の 1 つであると思う。

(元熱田高校教諭)

# がんばれ熱高生

今回は本校卒業生4名に原稿を依頼しました。28回生の竹下佳宏氏は地元熱田区の警察署長に昨年赴任されました。相談にのってもらうのは良い事だと思いますが、署長さんが迷惑と思われる行動には気をつけたいものです。61回生の杉本香穂さんは先輩竹下氏と同じく県警の人です。白バイ隊員として名古屋ウイメンズマラソンを先導されました。多くの人がテレビ中継を見ていたと思います。凛々しい姿が想い浮かびます。26回生の伊藤淳氏は、熱田区二番二丁目でジュン歯科医院を開業しています。医師を知っていると何か心が癒されますね。65回生の加藤桃英さんは行動力があり、物事をよく考える大学4年生です。彼女なりに人生の大切さを悟っていますので一読してみてください。

## 不思議な縁

### 28回生 竹下 佳宏



万前秀男先生から同窓会「会報」への寄稿依頼をいただき、大変恐縮しているわけですが、改めて熱田高校卒業生のつながりの強さも感じているところです。

私は昨年3月22日に現在の職場である熱田警察署に赴任しました。熱田区には40数年前に3年間通った熱田高校があり、とても懐かしさを感じました。



交通安全の呼びかけ

愛着のある場所であると同時に、これも何かの縁かなとしみじみ思っています。冒頭につながりと申しましたが、人と人とのつながり、特に熱田高校卒業というワード1つで、人のつながりが広がっていくことを今しみじみと感じていますし、熱田高校の絆の強さを思います。

在校中は今の職業に就くとは思っていなかったわけですが、先輩から勧められたことも、就職する際に大きな影響があったのかなと思います。

今こうして熱田区で仕事をしていますが、熱田高校卒業の方が多くみえ、話をさせていただくほどに、人の輪の広がりを感じています。伝統ある熱田高校は自主性を重んじる校風であったことが、私にとっても居心地の良いものでした。そのおかげで今でもこうして懐かしむことができるのだと思います。

仕事柄、ありとあらゆる事件・事故の経験をしました。在サウジアラビア日本国大使館で、3年間の海外勤務や、東京での単身赴任も経験しました。その都度、難しい判断をしなければならぬことも多くありました。自分で道を切り開くという高校時代に鍛えられた精神で乗り越えています。

在校生の皆さん、人とのつながりは簡単には無くなりません。今の友人・恩師との時間を大切にしてください。青春を謳歌してください。やりたいことをどんどんやってみてください

やろつかやめようかと  
迷ったらまずやりましょう  
やらずに後悔するくらいなら  
やってみてください

必ず誰かが皆さんを支えてくれます。

(熱田警察署 署長)



第2 交通機動隊 勤務時代

将来、警察官希望の方、ぜひ熱田警察署(052-671-0110)にご連絡をください。いつでもお待ちしております。

今までもこれから

61回生 杉木 香穂



鼓膜に響くピストルの音、同時に沸き起る大歓声、私は大きく深呼吸をして後方のラン

ナーを確認しながら白バイのアクセルを開けました。

私にとって名古屋ウイメンズマラソンの先導は大きな憧れでした。このマラソンは、日本人トップランナーにとって、パリオリピック出場へ最後の一枠をかけた重要な国際レースであり、その先導を託された私も緊張感と不安で胸が張り裂けそうになっていました。

私が先導で、通行車両がまったく無い名古屋環状線に出たとき、沿道に並ぶ観衆の笑顔が目に映り、夢が本当に実現となったと実感しました。あの感覚は忘れることができません。

私は、高校でバスケットボール部に所属し朝から晩まで部活動中心の生活でした。成果として、愛知県ベスト4になったときは本当に嬉しかったです。

バスケットボール部の仲間たちと過ごした日々を思い返すと、意見の

相違からぶつかりあったことや、試合に負けて悔しくて涙した日など、楽しかった思い出ばかりではありませんでした。それは私にとって財産といえるかけがえのない日々でもありました。自分の中で目標を立てること、次に目標達成に向けてあらゆる努力を惜しまないこと、そしてあきらめないことを学ばせていただいたからです。



名古屋ウイメンズマラソン先導 (2024年3月10)

警察官に採用され白バイ隊員になり、マラソン先導ができたことは、

らの目標達成に努力できたことは、熱田高校で出会った仲間たち、家族をはじめ沢山の方々を支えられたことであると思っています。

夢を叶えられた原点に熱田高校があります。



高校2年生 バスケット県大会 背番号12番

部活動の仲間たちとは定期的に集まり高校時代の思い出話や、近況報告で盛り上がり、友情は今も続いています。仲間たちの頑張っている姿に励まされ、パワーを貰い、私の頑張りも仲間のパワーになればとても嬉しく思います。そんな仲間たちに出会えたことに感謝しています。

私の新たな目標は全国白バイ安全運転競技大会です。今までも、これからは熱田高校で学んだ「目標をたてる」というスタンスを活かして、女性白バイ隊員日本一を目指します。

(第一交通機動隊)

還暦を過ぎて

26回生 伊藤 淳



熱高生の皆様はじめまして、26回生の伊藤淳と申します。

時の経つのは早いもので、高校

を卒業して44年目を迎えました。自分がその間大切にしてきたもの、それは「出会いを大切にすること」「目標を持つこと」です。

特に高校時代の出合いは一生の宝物になることも多く、社会人になっても、様々なことで自分の力になります。恩師・クラスメイト・部活においては先輩後輩、ライバル校の友もできました。自分の人生においてなくてはならないものとなってあり、自分の時間を豊にしてくれるものです。

また、目標を持つこと、これは今話題のメジャーリーガー大谷翔平選手の大谷ノートが有名ですが、自分も目標を立てその目標を達成するためには何が必要か。いつまでに何をしたらよいか、長期的・短期的に分けて考えて進めてきました。当然、最初に建てた予定通りに進むことばかりではないので、見直しが必要で



同期会の幹事として活躍 (2023年11月開催)

ないかと考えます。

自分はあるきっかけで卒業25年を祝し26回生の同期会を企画することになりました。1人でできるものではなく、同意してくれる仲間が集まり、企画・運営の意見を出し合いました。個人情報保護法・特殊詐欺(オレオレ詐欺)もあり、名簿作りもままならない時もありましたが、めでたく26回生同期会の第1回を開催することができました。その後5年ごとに第2回第3回と開催し、次は還暦を祝し盛大に行うことに楽しみにしております。

そこで起きたことは、新型コロナウイルス感染症の蔓延です。過去に誰も経験したことがないパンデミック、

感染症の分類が2類から5類に移行することが決まり、1年遅れで企画を無事開催することができました。

人生何が起るかわかりません。

出会いを大切にして信頼おける人間関係を構築し、目標を立て、その都度見直していくことが大切なのではないでしょうか。

今できることは何かを考え、時間を大切にして有意義な高校生活を送ってください。少しでも皆様の参考になればと思います。

(ジユン齒科医院 院長)

### 韓国留学から得た

### 出会いの大切さ

65回生 加藤 桃英



熱田高校は様々な目標を持った生徒が集まっています。部活動で全国

大会出場を目指す生徒、充実した高校生活を夢見る生徒、勉強

もうとする生徒。私も高校時代、そんな生徒の一人でした。

目標に向かって努力していた友人は、高校を卒業しても新しい目標を持って努力し続けています。そして友人の姿は、私に努力する勇気を与え続けてくれます。私が、一番幸運

だったのは、熱田高校でそんな友人に数多く出会えたこと、人との関りが自己成長に繋がると気づいたことです。

高校時代、私はサッカー部のマネージャーをしていました。役割上先生や保護者の方、外部の人々といったように多くの人と接する機会に恵まれました。部活動を通じて感じたことのひとつは、私たちの生活は多くの人に支えられてできているということです。高校生は中学時代と違い規則が少なく、自分で考え行動することが増えてきます。努力して目標を達成したことは、自身が成し遂げたことに違いありませんが、その裏には友人・先生・家族、周りの多くの人の支えがあります。



サッカー部のマネージャーと共に

私は2月に半年間の韓国留学を終え帰国しました。韓国留学を決めた理由は、ウクライナ避難者支援ボランティア活動に参加した際、ウクライナ語を話せる人の存在が、避難者に安心感をもたらしている姿を目の当たりにしたためです。

その経験から、英語以外の言語も英語以上に価値を持つことがあるのだと、言語の価値を再認識し、以前から学んでいた韓国語の学びをより一層深めるための韓国への語学留学でした。現地では語学学校に通う傍ら、語学交流会や課外活動の場に積極的に参加したのですが、温かく迎え入れてくれる人が本当に多く「情」を大切にする韓国らしい、人との関り方を学びました。

私はとても人見知りなので、韓国に1人で向かう飛行機の中、不安を感じていたことを覚えていますが、その不安は、自分が受け入れられないのではないかとという思い込みが作り出しているものでした。

一歩新しいコミュニケーションに踏み入れてみると、温かく受け入れてくれた人と充実した日々を過ごすことができ、不安を感じる必要はありませんでした。韓国だけでなく、海外から来た留学生や、日本人留学生と話し、自分が知らなかったことを知り、受け入れていく過程が楽し



韓国語学学校の賞状、皆勤賞と優等賞

く思えました。こうして出来た友人とは、現在も連絡を取り合い、お互いの進路を応援し合っています。

高校生活と大学生活を振り返り、新しい環境に入るとは緊張を伴いますが、それが自分の世界を広げる一歩となると感じました。

学生時代の終わりは、社会に一步踏み込む時期でもあり不安も多いことでしょう。

しかしそんな時近くに手助けしてくれる人がいます。そして、多様な価値観や経験を持つ人生の先輩との出会いを恐れずに、ひとりひとりの出会いを受け入れ、自分の世界を広げることを楽しんでください。皆さんの高校生活と、明るい未来が待っていることを願っています。



- 一 開式の辞
- 二 国歌斉唱
- 三 入学許可
- 四 校長式辞
- 五 誓いの言葉
- 六 PTA会長祝辞
- 七 来賓紹介
- 八 校歌吹奏
- 九 閉式の辞

### 式次第



入学許可 320名

## 入学式・卒業式



吹奏楽部に迎えられ



新入生



卒業式を終え体育館をあとに



卒業式 校長式辞



**同窓会入会式の報告**

全日制課程卒業生307名の参加を得て、令和6年2月29日副会長奥田隆庸氏(25回生)のもと、午後1時から新体育館で行いました。

同窓会から祝辞と記念品を卒業生代表幹事へ贈りました。



卒業証書授与

令和6年度  
転出者・新転入者・退職者一覧

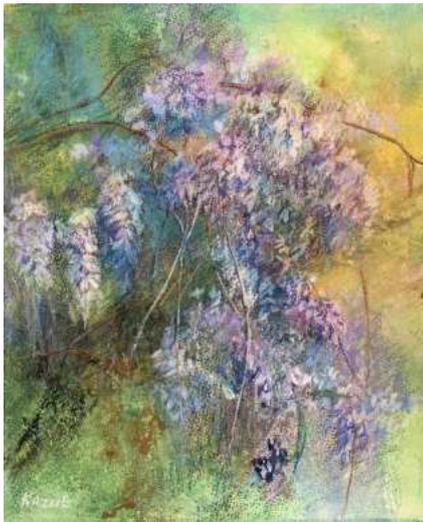
辻村 博 教頭 (明和高)  
佐々木 芳洋 教諭 (古知野高定教頭)  
大野 裕稔 教諭 (旭陵高)  
北浦 弘之 教諭 (瑞陵高)  
大西 ありさ 教諭再 (瑞陵高再)  
板東 満代 教諭再 (松蔭高再)  
高橋 祐太 主事 (豊橋工科高)  
山下 里佳 主事 (アジア・アジア  
パラ競技大会推進局企画調整課)

転任者(敬称略・転入元)

大家 浩靖 教頭 (稻沢東高)  
成田 雅英 教諭 (西春高)  
坂口 文博 教諭 (吉良高)  
加藤 宏和 教諭 (衣台高)  
阿部 洋士 教諭 (旭陵高)  
大河 禎実 教諭 (岡崎高)  
秋葉 友子 教諭 (東郷高)  
中川 和久 教諭再 (名古屋工科高)  
藤中 政浩 教諭再 (松蔭高)  
高橋 美恵子 実習助手 (初任)  
中澤 高志 教諭再 (熱田高再継続)  
早瀬 浩文 教諭再 (熱田高再継続)  
橋本 正秀 教諭再 (熱田高再継続)  
青木 宏憲 教諭再 (熱田高再継続)  
中田 隆太郎 主事 (千種高)  
小暮 峻太郎 主事 (教職員課)

退職者(敬称略)

中澤 高志 教頭 (熱田高再)  
加藤 清明 教諭再  
安達 和貴 教諭再  
森 雅司 教諭再  
山田 健次 教諭再  
川邊 誠 実習助手再 (熱田高再)  
佐藤 誠 用務員 (熱田高再)



田中和枝(旧姓 竹内)

11回生

『フジ咲く』(パステル画8号)  
里山の 木々中にひっそりと  
自生する野生の藤(フジ)の木  
花を付けると遠目にも  
一目で分かる  
花のないときはほぼ気づかない

令和5年度

愛知県立熱田高等学校同窓会会計収支決算報告

(2023.3.25から 2024.3.25まで)

Table with financial data including income and expenditure sections. Income total: 5,305,221. Expenditure total: 1,797,089.

次年度繰越金 a-b 3,508,132  
令和5年度積立基金総額(人工芝維持・海外交流・部活動援助) 1,125,562  
令和6年3月23日、上記のとおり会計報告をします。 会計代表 神谷和雄  
執行担当者 万前秀男 水谷 優  
令和5年度会計における証換書類並びに会計帳簿を精査したところ、  
正確に処理されていることを認めます。  
平成6年3月28日 監査代表 木村隆秀 早川徳一

画家 田中和枝さんの  
パステル画が寄贈される

田中和枝さんが会報に登場したのは、会報20号の「がんばれ熱高生」の原稿依頼から始まります。田中さんは文章と共に東京都美術館の「主体展」に出品された絵画の前で撮った写真を送ってこられた。  
絵画は「会報」を豊かな文化的なものにすると思い、「会報21号」からパステル画を載せることに同意を得た。

令和2年 21号「窓辺」  
令和3年 22号「ハロウィンのころ」  
令和3年 23号「梅香る小径」  
令和4年 24号「冬日」  
令和4年 25号「六月」  
令和4年 26号「紅い実」  
令和5年 27号「ため池の6月」  
令和5年 28号「蓮の実」  
令和6年 29号「フジの花」  
このパステル画の数が熱田高校に寄贈されることになりました。教室や廊下のあちこちにパステル画があれば、文化的な香りに満ちた学校になります。緑のグラウンドと共に生徒にやすらぎをあたえるでしょう。  
寄贈計画はこれからですが、同窓会側からは同窓会執行役員の青木宏憲(23回生)が中心となり学校側と飾る場所・維持管理など検討され具体化されます。  
文責 谷澤 伸(11回生)

同期会の開催案内

19回生「古希同期会」の案内  
日時 令和6年10月25日(金)  
14時00分〜16時00分  
場所 名古屋グレートタワービル